

Linux システム起動時に実行する処理

[Linux]

- ・ランレベルごとに細かく制御する必要がなければ、rc.local に書いておく。

初期設定とランレベルの切り替え

init プロセスが実行する内容はランレベルごとにさまざまだが、詳細は /etc/rc.d 以下のディレクトリとスクリプトファイルに記載されている。

■ rc.sysinit

- ・システム起動時に、init プロセスによって開始されるスクリプト。
- ・ファイルシステムのマウントなど、Linux を利用可能にするための作業を処理

■ rc.local

- ・rc.sysinit によって呼び出されるスクリプト。
- ・システムの起動に影響を与えるカスタマイズをローカルに行う。
- ・rc.sysinit を直接変更すると、システムのアップグレードの際に変更内容が失われることがあるため、代わりにこちらに変更内容を記述する。

■ rc

ランレベルの切り替えに使用される。

■ init.d

- ・システム上のサービスごとに起動とシャットダウンスクリプトが用意されており、このディレクトリに格納される
- ・各スクリプトは標準の基本的な形式を採用し、引数をひとつだけとる
- ・どのスクリプトでも有効な引数は start と stop。その他、restart,status,reload など

```
/etc/rc.d/initd/httpd stop  
/etc/rc.d/initd/httpd start
```